

注意報 注意報 注意報 注意報 注意報 注意報 注意報 注意報 注意報 注意報 注意報 注意報

23 高虫防第 19 号
平成 23 年 6 月 7 日

関係機関長 様

高知県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について

病虫害発生予察注意報第1号を送付します。

平成23年度病虫害発生予察注意報第1号

平成 23 年 6 月 7 日
高知県病虫害防除所

病虫害名 黒点病 (*Diaporthe citri*)

- 1 対象作物 カンキツ類
- 2 発生地域 県内全域
- 3 発生時期 6月～9月
- 4 発生程度 多

5 注意報発令の根拠

- (1) 5月下旬の巡回調査では、樹種に関係なく発生が多く見られ、温州ミカンでは県全域に多発生、中晩柑類は、県西部で多発生、東部・中央部でやや多発生であった(第1表)。冬期の厳しい冷え込みによる枯れ枝量の増加や3～4月の低温による新梢伸長・展葉時期の遅れに加え、5月の天候不順が重なり発生面積が増加したものと思われる。
- (2) 6月以降に黒点病の発生面積が急増した昨年5月時点の発生面積率を上まわっており(第2表)、平年より早い梅雨入りのため適期防除が難しい状況となっている。
- (3) 四国地方の今後1ヶ月の長期予報(平成23年5月27日、高松地方气象台発表)では、降水量は平年より多く、日照時間は平年並～少なく、気温は平年並～高いと予想されており、黒点病の病勢進展に好適な気象条件が今後も続く予想される(第3表)。

6 防除対策

- (1) 6月の降雨量が多いと発生が多くなるので、雨の降り方を見て、適宜薬剤散布を実施する。累積降雨量が250mm前後に達する毎に次の薬剤散布を行い、9月上中旬頃まで防除を続けていく。
- (2) 薬剤防除に当たっては、周辺作物に飛散しないよう配慮するとともに、薬剤の選定・使用にあたって県病虫害防除指針や各地域の農業振興センター、JAなどの防除指導に基づき、農薬使用基準を遵守する。
- (3) 本病菌は枯れ枝上に形成される柄胞子によって伝搬し、果実では幼果から成熟期まで長期にわたって発病する。感染源となる枯れ枝は切除し、園外への除去を徹底的に行う。

第1表 黒点病の発生面積 (葉での調査) 5月下旬調査、単位:ha

	温州ミカン		中晩柑類	
	本年	平年	本年	平年
東 部	-	-	99.8	64.8
中央部	103.9	25.4	308.8	214.0
中西部	-	-	63.1	88.4
西 部	-	-	178.5	78.6
合 計	103.9	25.4	650.2	445.8

栽培面積 温州ミカン[東部:15ha、中央部:239ha、中西部:10ha、西部:45ha、合計:309ha]
 中晩柑類[東部:399ha、中央部:386ha、中西部:379ha、西部:238ha、合計:1,402ha]

第2表 5月における黒点病の発生面積率 (葉での調査) 5月下旬調査単位:%

	温州ミカン			中晩柑類		
	本年	昨年	平年	本年	昨年	平年
県全域での発生面積率	41.7	7.7	10.2	46.4	37.9	31.8

昨年2010は、6月以降に黒点病の発生面積が急増した年であった。

第3表 1ヶ月の気象予報 (5月28日から6月27日までの天候見通し)

要素	地域	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気 温		20%	40%	40%
降水量	四国地方	20%	30%	50%
日照時間		40%	40%	20%

注)平成23年5月27日に高松气象台より発表